

12月定例会 個人質問

馬越裕正議員



市有建物施設の保全 について

議員 指定管理者制度との関係についてたずねる。

市長 指定管理者が行う保全範囲は施設の管理運営を行う中での日常点検や小修繕となっており、一定規模以上の修繕や改修は、施設者である市が行うこととなる。指定管理者は、受託業務の中で発見した施設の不具合等を必要に応じて市に報告することとなっている。

議員 保健センターの空調が壊れているという情報を耳にしたが、どうなっているのか。

健康福祉部長 開館以来大規模な修繕をせず、故障の都度修繕を繰り返す現状であるが、将来的には改修工事が必要と考えている。

地方中枢拠点都市構 想について

議員 福山・倉敷両圏域での活動経過をたずねる。

市長 福山市を中心とする備後圏域では、連携事業の方向性を示す「びんご圏域ビジョン骨子(案)」について議論している。

一方、倉敷市を中心とする高梁川流域圏では、連携推進協議会が8月に設立され、経済成長戦略セミナーが開催されているが、備後圏域に比べて遅れている状況である。

「隠れ介護」について

議員 市の職員、教員の現状把握と、その解決策についてたずねる。

市長 所属長等からの連絡

や本人からの相談で把握に努めており、日ごろから職場で互いに声をかけ、悩みなどを相談しやすい職場づくりを進めることにより、早い段階からの把握と対応に努めたい。

教育長 教職員についても校長を通じて、介護が必要となる職員の状況の把握に努めており、隠れ介護の状況をつくらなためには、お互いに助け合い、声をかけ合う風土づくりが重要と考えている。

大本益之議員



広域連携モデル事業 について

議員 ①個別に協議が進んでいるものがあれば教えていただきたい。

②本市としてはどのような連携事業を考えているのかたずねる。

市長 ①高梁川流域圏では、歴史と文化を継承する町家等の再生・利活用と、圏域内市町を代表する文化施設を掲載したマップの作成による圏域外広域集客を図る取組み等を検討している。

備後圏域では、観光と異分野の組み合わせによる誘客方法、地域住民との交流や体験を通じて観光客に感動を与える着地型観光の振興等を検討している。

②両圏域ともビジョンの策定作業中で、このビジョンに基づき連携事業を進めていくことになるが、両圏域とも圏域全体の経済成長の牽引、高次の都市機能の集積、圏域全体の生活関連機能サービスの向上の3つの柱を中心とした連携事業を実施していく予定である。現在進めているビジョンの策定過程での協議等を踏まえ、必要な事業については連携を検討していく。

議員 県とのかかわりについてたずねる。

政策部長 市町村の自治体間の連携であり、オプザバー的な立場で参画をしていただき、助言等をいただきたいと考えている。

介護予防や生活支援 の今後について

議員 今後多様化する介護予防、生活支援サービス事業や一般介護予防事業に求められる新しい総合事業に対応したシステム構築の方針をたずねる。

市長 地域包括支援センターの運営として介護予防ケアマネジメント、総合相談支援業務、権利擁護業務などを行っており、加えて現在岡山県のモデル事業として取り組んでいる在宅医療連携拠点事業や認知症施策をさらに充実させ、在宅医療、介護連携の推進、認知症施策の推進なども地域支援事業として充実を図りたい。